

平成 23 年 6月 補正予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)				区分	
6	商店街環境整備補助事業(LED推進事業)(商店街振興事業)			新規	拡大
会計区分	款	項	目	所管	
一般会計	7	1	2	経済局 経済部 商工振興課	
事務事業の位置付け					
しあわせ倍増プラン2009	番号		事業名		
総合振興計画新実施計画	事業コード		事業名		
根拠法令・条例・規則等					
予算要求事業の概要					
内容	商店街のにぎわいの創出や顧客の利便性の向上を図ることを目的に共同施設整備を行う商店会に対し、予算の範囲内で補助金の交付を行うものです。 平成21年度から、建替えや改修による商店街街路灯のLED化を行う商店街に対し、予算の範囲内で補助を行っています。				
目的・目標	<p><目的> 商店街における街路灯のLED化を推進することにより、消費電力の削減や長寿命化による省エネルギー効果を図ります。</p> <p><目標> 商店街街路灯は夜間には防犯面においても重要な役割を果たしているものであり、東日本大震災における電力供給不足が社会問題化している現在においても、一定数の点灯を行う必要があることから、街路灯のLED化を行うことにより、消費電力の抑制を図ります。</p>				
現状と課題	<p><現状(平成22年度末見込み)> さいたま市内における商店街街路灯約6,200基のうち、35商店街において888基のLED化を行っており、現在の市内商店街街路灯のLED化率は約14%です。</p> <p><課題> 商店街街路灯のLED化推進事業は、各商店街においても相応の負担が発生することから、協議の時間が必要と思われるため、事業の実施について円滑に進める必要があります。</p>				
今後のスケジュール	<p><各年度におけるLED化推進状況、及びLED化率></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21~22年度 35商店街で888基をLED化し、LED化率は約14% 平成23年度当初予算 14商店街程度で、LED化率は約20% 平成23年6月補正予算 14商店街程度で、LED化率は約26% 				

2 補正予算要求の理由と効果

要求理由	緊急性	東日本大震災による電力供給不足により、今後、電力消費量の抑制を行う社会的必要性があることから、恒常的に点灯することの多い商店街街路灯のLED化を推進するため、補助金の予算額を拡大するものです。
	実施義務	根拠法令等
	他市の実施状況	政令市：他政令市においても実施 県内他市：
効果	対象者	市内商店街
	効果	LED化を推進することにより、消費電力や電気代の節減が見込まれます。

3 補正前予算と補正予算要求の内容 (単位：千円)

区分	金額	備考
平成23年度	補正前予算	51,292 <積算内訳> 1 商店街環境整備補助事業(LED化推進事業)
	財源内訳	繰入金 10,000 一般財源 41,292 ・繰入金(グリーンニューディール基金繰入金)
6月補正予算	補正予算要求	68,466 <積算内訳> 1 商店街環境整備補助事業(LED化推進事業)
	財源内訳	繰入金 35,500 一般財源 32,966 ・繰入金(グリーンニューディール基金繰入金)
6月補正予算	財政局長査定	68,466 <査定内容> 1 商店街環境整備補助事業(LED化推進事業)
	財源内訳	繰入金 35,500 一般財源 32,966 ・繰入金(グリーンニューディール基金繰入金)
<査定理由> 商店街街路灯のLED化推進を支援することにより、消費電力量の抑制効果が見込まれるため、早期実施が必要な事業であると判断し、6月補正予算に計上することとしました。		
市長査定	68,466 <査定内容> 1 商店街環境整備補助事業(LED化推進事業)	
財源内訳	繰入金 35,500 一般財源 32,966 ・繰入金(グリーンニューディール基金繰入金)	
<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。		